2025年度(令和７年度)
リカレント講座

広島大学大学院との連携講座
リテラ「21世紀の人文学」講座2025
フランスの言語と地方文化

フランスの言語と文化は地域によってかなり異なる様相を呈します。特に南フランスは、古い時代からパリを中心とした北フランスとはかなり異なる風土と文化があります。本講座では、このような歴史的風土と文化に影響されている南フランスの言語と文学に触れていきます。

1．12月6日（土）13:30～15:00
「フランスのことば　―その変遷と確立」

講師：広島大学大学院人間社会科学研究科教授
上野　貴史 さん

フランス共和国では、標準フランス語以外にも多くの方言や言語が話されています。本講義では、俗ラテン語から現在のフランスで話されている言語、特に南フランスのプロヴァンス地域で使用されている言葉がどのように変化し確立したかを解説します。

2．12月6日（土）15:10～16:40
「地域文学の可能性　―マルセイユと文学」

講師：広島大学大学院人間社会科学研究科教授
宮川　朗子 さん

本講義では、南フランスの主要都市マルセイユの文学についてお話しします。まず、プロヴァンス地方における文学の伝統とその変遷、そして数々の文学作品の舞台となったマルセイユのイメージについて簡単にお話しした後、1990年代に興隆し、今日まで続く「ポラー・マルセイエ」と呼ばれる暗黒小説の潮流を紹介します。この潮流は、地域の文化や風物を愛でるという伝統的な地方文学とは性格が異なりますが、それでもなお読者の関心を引きつけ続けています。講義では、この文学のおもしろさを紹介します。

●日時：
12月6日(土)
13:30～15:00
15:10～16:40

●会場：
合人社ウェンディひと・まちプラザ
（広島市まちづくり市民交流プラザ）
広島市中区袋町６－３６

●定員：
１００人
（定員を超える場合は抽選）

●受講料：
750円

●申し込み：
「通常はがき」での申し込みとなります。
（往復はがきではありません。）
※申し込み方法など詳しくは裏面をご覧ください。

●受付期間：
10月1日(水)～10月31日(金)
【必着】

●主催：
(公財)広島市文化財団、
広島市

※申込方法など詳しくは裏面をご覧ください。